

三島由紀夫書誌

生誕百周年を迎えた戦後日本文学を代表する作家・三島由紀夫に関する年譜・文献・上演・映像など各種資料を集めた最大規模の書誌



毎日新聞社提供



佐藤秀明・山中剛史・久保田裕子 編

B5判 上製 1,130頁

定価33,000円（本体30,000円＋税10%）

ISBN：978-4-8169-3047-8

2025年5月刊行 *電子書籍版もあり

「はじめに」より抜粋

従来の目録

『決定版三島由紀夫全集』（新潮社、全42巻・補巻1・別巻1）は2000年（平成12年）11月から2006年（平成18年）4月まで刊行された。（中略）しかし、刊行開始から四半世紀近くの時が流れ、完結後からでも20年近い年月が経っている。この間、三島由紀夫の新たな著書が刊行され、編集時には気づかなかった未収録作品や書簡や音声・映像資料が発見され、演劇や放送や映画の分野では大へん多くのアダプテーションがなされてきた。

本書の成立／いま世に問う意義

この『三島由紀夫書誌』は、「受容史—そのためのエスキス」を巻頭に置き、1「年譜」、2「参考文献目録」、3「著書目録」、4「上演作品目録」、5「映画化作品目録」、6「放送作品目録」、7「音声・映像資料目録」、8「逸文目録」、9「翻訳作品目録」、10「著者名索引」から成り立っている。（中略）これらの目録は、『決定版三島由紀夫全集』が記載・収録しなかった、あるいはできなかったデータを取録したものである。

死後に成長する作家

三島由紀夫の人気は、1970年（昭和45年）の死以降も、『決定版全集』の完結後も衰えを知らず、むしろ高まるばかりで、とりわけ多くの翻訳を通して海外での受容が高まっている。（中略）三島由紀夫を「死後に成長する作家」と呼んだのは文芸評論家の秋山駿だが、その「死後に成長する作家」と言われる実態を編年体で示したのが「年譜」である。本書の「年譜」は三島の生涯を扱った既存の年譜に対して、生前の事項を簡略にし、むしろ没後の事項に重きを置いたものにした。

佐藤秀明（近畿大学名誉教授、三島由紀夫文学館館長）

【編者プロフィール】

佐藤秀明 さとう・ひであき

近畿大学名誉教授、三島由紀夫文学館館長。著書に「三島由紀夫—悲劇への欲動」（岩波新書）、「三島由紀夫一人と文学」（勉誠出版）、「三島由紀夫の文学」（試論社）、編著に「三島由紀夫紀行文集」「三島由紀夫スポーツ論集」（ともに岩波文庫）など。「決定版三島由紀夫全集」編集協力。「三島由紀夫研究」（鼎書房）編集委員。

山中剛史 やまなか・たけし

中央大学大学院ほかで非常勤講師。三島由紀夫文学館研究員。単著に「谷崎潤一郎と書物」（秀明大学出版会）、共著に「決定版三島由紀夫全集42書誌・年譜」（新潮社）、共編著に「混沌と抗戦—三島由紀夫と日本、そして世界」（水声社）など。「三島由紀夫研究」（鼎書房）編集委員。

久保田裕子 くぼた・ゆうこ

福岡教育大学教授。研究分野は、日本近現代文学研究、女性作家研究、日本文学におけるタイ国の表象分析研究。共編著に「三島由紀夫小百科」（水声社）、「21世紀の三島由紀夫」（翰林書房）、「混沌と抗戦—三島由紀夫と日本、そして世界」（水声社）など。「三島由紀夫研究」（鼎書房）編集委員。

◆構成（目次）

はじめに

受容史—そのためのエスキス〔研究概説〕

1.年譜

2.参考文献目録

3.著書目録

4.上演作品目録

5.映画化作品目録

6.放送作品目録

7.音声・映像資料目録

8.逸文目録

9.翻訳作品目録

索引（著者名索引〔参考文献目録対象〕）

*3～8は新潮社「決定版三島由紀夫全集 第42巻 年譜・書誌」（2005）以後・未収録分対象

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書	三島由紀夫書誌	取扱書店
	定価33,000円（本体30,000円＋税10%） ISBN978-4-8169-3047-8	
	冊	
		9784816930478

三島由紀夫の全体像に迫る、 多年にわたる綿密な調査にもとづいた図書館・研究者必携の決定版書誌

- ▶ 新潮社「決定版三島由紀夫全集 第42巻 年譜・書誌」未収録の参考文献目録28,000件を中心に、詳細な年譜、翻訳作品目録2,200件、「決定版」刊行以後約20年分の補遺も含めた30,000件超の過去類例を見ない規模の文献・資料を集成。
- ▶ 言及された作品、初出・再掲の情報も示した参考文献目録、海外での受容の広まりを示す翻訳作品目録、生誕100年記念となる2025年1月まで、没後の受容面に重きを置いた年譜、新潮社版刊行後だけでなく未収録作品、新発見書簡や映像資料情報なども新たに収録。今後の三島研究・読解に欠かせない資料。

三島由紀夫 みしま・ゆきお (1925～1970)

小説家・劇作家。東京生まれ。本名・平岡公威(ひらおか・きみたけ)。東京大学法学部卒。旧大蔵省に入るが短期間で退職し、執筆生活に入る。代表作に「仮面の告白」「金閣寺」「潮騒(しおさい)」「豊饒の海」など。「三島由紀夫全集」(全35巻・補1巻 新潮社)、「三島由紀夫短編全集」(全2巻 新潮社)「決定版 三島由紀夫全集」(全42巻・補巻1・別巻1 新潮社)がある。1999年山梨県山中湖村に三島由紀夫文学館がオープン。

内容見本

1979年(昭和54年) 没後9年

1月 「『金閣寺』ノート——創作ノート」が「波」に掲載される。3月まで。15日、『新潮現代文学32 金閣寺・春の雪』新潮社刊。18日、「三島由紀夫展」が伊勢丹新宿店で開かれる。主催・毎日新聞社、三島由紀夫企画委員会。3月16日から仙台、4月6日から名古屋、6月7日から大阪、8月23日から静岡でも開催。

3月 「昭和廿年八月の記念に」が「新潮」に掲載される。3日、劇化した「春の雪」を京都の南座で上演。脚色、演出・川口松太郎、演出・戌井市郎、出演・市川海老蔵、酒井和歌子、久米明ほか。26日まで。14日、コクトー作「双頭の鷲」(監修・三島由紀夫)を博品館劇場で上演。演出・松浦竹夫、出演・有馬稲子、西岡徳美ほか。18日まで。

5月 11日、「三島由紀夫原作映画の全貌」が東京の三百人劇場で。

6月 5日、「邯鄲」「葵上」「道成寺」を国立劇場小劇場で上演。演出・野村耕介ほか。「葵上」は演出・高橋三千綱、出演・入江若葉、出演・芥川比呂志、出演・杉浦直樹、藤真利子ほか。13日まで。

8月 31日、「熊野」を劇団「陰翳」が東京の宇宙館で上演。演出・。

9月 8日、「綾の鼓」「班女」をてふの会が東京のジャンジャンで。

10月 1日、水谷良重死去。享年74歳。2日、「サド公爵夫人」を演出・ジャン＝ピエール・グランヴァル、出演・ダニエル・ルブス・フェラ、エレオノール・イール、パスカル・ロペール、マリ。ら25日まで。札幌共済ホール、神戸文化ホール、名古屋の中部日ホールでも上演。15日、「班女」を豊島区民センター文化ホールで。か。20日、「船の挨拶」を劇団かに座が横浜のスカイ劇場で上演。まで。29日、オペラ「卒塔婆小町」をカフェアトル2つの部屋で。夫、出演・竹沢嘉明、安居史恵子ほか。11月5日まで。

11月 25日、憂国忌が牛込公会堂で催される。

12月 6日、「卒塔婆小町」(上演タイトル「卒塔婆ト小町——三島」keが早稲田大学文学部七転舎アトリエで上演。演出・福島由季

言及された作品の略号

1938年(昭和13年)

(無署名) 《編集後記》 輔仁会雑誌 161 1938
年3月 酸

1939年(昭和14年)

(無署名) 《編集後記》 輔仁会雑誌 164 1939
年11月 館

1941年(昭和16年)

署名(は) 《後記》 文芸文化 4・9 1941年9月
花①

1943年(昭和18年)

富士正晴 林富士馬の詩 文芸文化 6・8 1943
年8月 花①

1946年(昭和21年)

高山毅 《文芸時評》作家の思想(→08・10) 日
本文学者 3・1 1946年1月 菖

▲ 年譜

参考文献目録 ▶

1. 肉声資料

「朝日ソノラマ」(1960・1)

1960年1月10日
朝日ソノプレス社
360円
ソノシート6枚綴込み型雑誌
▷1960年の展望(聞き手・鰐淵朗子)
*目次には三島の名前は記載されていないが、複
数のソノシートが綴
されていた雑誌「朝
日ソノシート1に、岸信
*三島の部分は1分10

歌舞伎名優名場面集5

2013年4月3日
日本コロムビア(COCOA)
2100円(税抜価格2000円)
CD ケース ブックレット
▷椿説弓張月(上の巻)
*監修/竹内道敬
*ブックレットに、台
敬)掲載

2. 音声資料

怪談傑作集5

1995年7月19日

◀ 音声・映像資料目録

▼ 翻訳作品目録

翻訳作品目録						
原題	翻訳作品名	言語	翻訳者	出版地：出版社	刊行年	収録書名 (シリーズ名)
肉体の学校	肉体学校	中国語	林青華	北京:中国文聯出版社	1999	恋都(三島由紀夫作品集)
肉体の学校	肉体学校	中国語	吳季倫	新北:大牌出版	2017.2021	
肉体の学校	肉体学校	中国語	鄭建元	台北:星光出版社	1996	(日本經典名著系列 37)
肉体の学校	L'école de la chair : roman	フランス語	Yves-Marie, Brigitte Allioux	Paris: Gallimard	1993	Du monde entier (Collection Folio 2697)
肉体の学校	A escola da carne	ポルトガル語	Jefferson José Teixeira	São Paulo: Estação Liberdade	2023	
日曜日	星期日	中国語	黃玉燕	台北:志文出版社	1985, 1987, 1994, 2001	三島由紀夫短篇傑作 集(新潮文庫 309)
日曜日	星期日	中国語	劉華亭	台北:星光出版社	1985	水中月(雙子星叢 書 349)
日曜日	星期天	中国語	陳徳文	桂林: 廣西師範大 学出版社	2018	魔群の通過(三島 由紀夫短篇小説集 2)
日曜日	Niedziela	ポーランド語	Henryk Lipszyc		1970	Przegląd orientalistyczny, vol. I, no. 73
日曜日	Niedziela	ポーランド語	Henryk Lipszyc	Warszawa: Świat Książki	2008	Zimny płomień i inne opowiadania
日食	日食	中国語	李敏	北京: 中信出版社	2023	雨中噴泉
日本とは何か	나라의 철학적 일기	韓国語	정봉래	서울: 두린	1992	슬픈문학은 빛을 처럼...
日本の古典 と私	日本的古典与我	中国語	唐月梅	北京: 中国文聯出版社	2000	残酷之美(三島由 紀夫作品集)
日本の古典 と私	日本的古典与我	中国語	唐月梅	石家庄: 河北教育 出版社	2002	芸術断想(東瀛美 文之旅)
日本の小説	日本小説家爲什麼	中国語	唐月梅	北京: 中国文聯出版社	2000	残酷之美(三島由 紀夫作品集)

再掲などの情報